

第7次青梅市総合長期計画策定にかかる
アンケート調査 集計結果の概要

目 次

1	調査の概要.....	1
	(1) 調査の種類と実施概要.....	1
	(2) 回収結果.....	1
2	市民アンケート調査.....	2
	(1) 回答者の属性.....	2
	(2) 青梅市総合長期計画の認知度.....	4
	(3) 市政・まちづくりへの関心.....	4
	(4) 市政への意見提出・行政活動への参加の有無.....	5
	(5) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活の変化.....	6
	(6) 青梅市の現在と10年後のイメージ.....	7
	(7) 施策の満足度・重要度.....	10
3	転出者アンケート調査.....	11
	(1) 回答者の属性.....	11
	(2) 転出時の状況.....	12
	(3) Uターンの意向.....	14
4	事業者アンケート調査.....	15
	(1) 回答事業者の属性.....	15
	(2) 事業所の強み.....	16
	(3) 経営上の課題.....	16
	(4) 青梅市で事業を行うことの強み・弱み.....	17
	(5) 新型コロナウイルス感染拡大の影響.....	18
	(6) 今後10年の事業展開で重要なこと.....	18
	(7) 地域活動（地域貢献）について.....	19
	(8) 各種制度・施策の活用状況.....	20
	(9) 行政や関係団体等の取組で必要なこと.....	20

1 調査の概要

(1) 調査の種類と実施概要

種類	対象者	実施方法
市民アンケート	18歳以上の市民 3,000人	調査票郵送配付・郵送回収 (WEBでの回答を併用)
転出者アンケート	H30.10.1～R3.9.30の間に本市から転出した1,000人	依頼ハガキ配付、WEBでの回答
事業者アンケート	市内の全事業者	依頼メール送付、WEBでの回答

(2) 回収結果

種類	配付数	回収数	回収率
市民アンケート	3,000票	調査票 868票	28.9%
		WEB 249票	8.3%
		計 1,117票	37.2%
転出者アンケート	1,000票 ※コロナ前 500票 コロナ後 500票	コロナ前 49票	9.8%
		コロナ後 57票	11.4%
		全体 106票	10.6%
事業者アンケート	対象事業者数 4,990事業者 (令和元年度経済センサス)	79票	—

※コロナ前…H30.10.1～R2.3.31 コロナ後…R2.4.1～R3.9.30

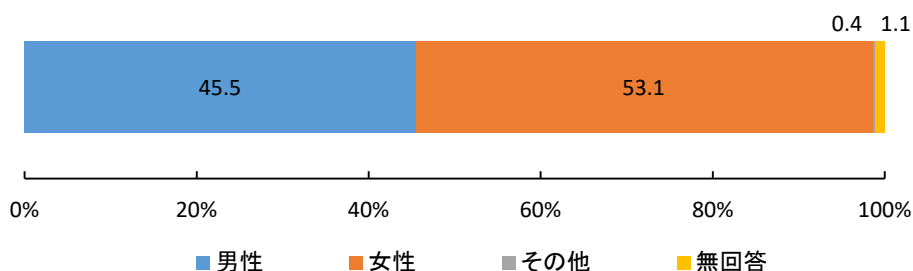
2 市民アンケート調査

(1) 回答者の属性

問1 はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

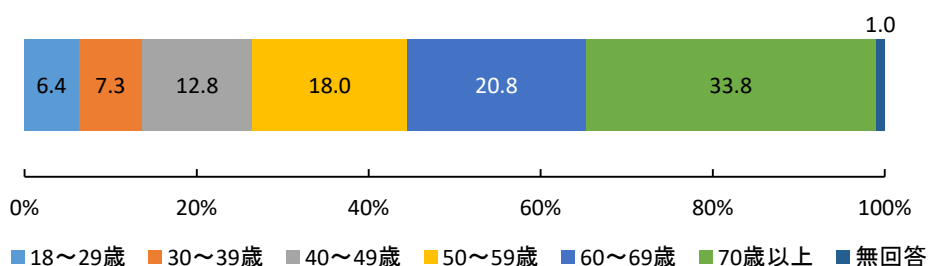
①性 別

回答者の性別は、「男性」45.5%、「女性」53.1%、「その他」0.4%となっています。



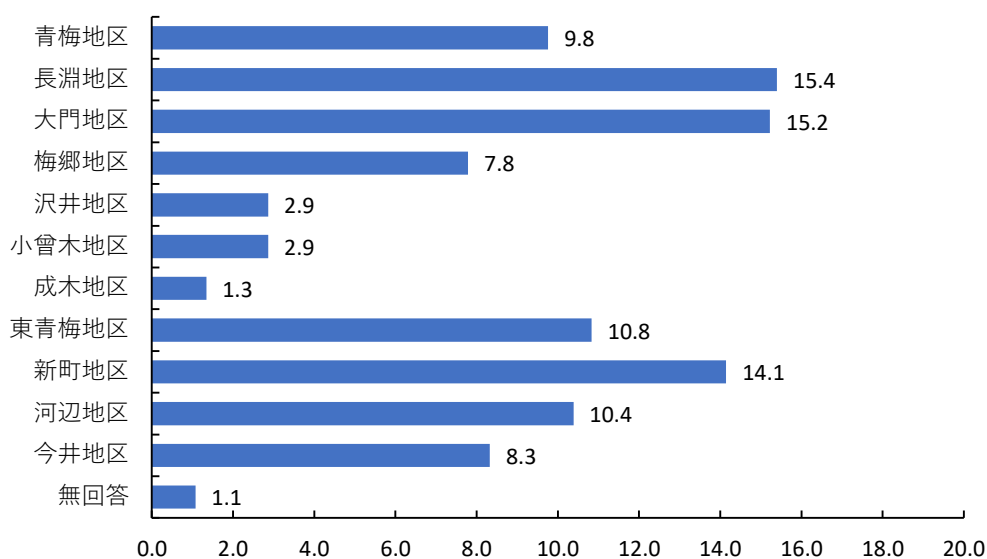
②年 齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が33.8%で最も多く、次いで「60～69歳」20.8%、「50～59歳」18.0%と続いています。



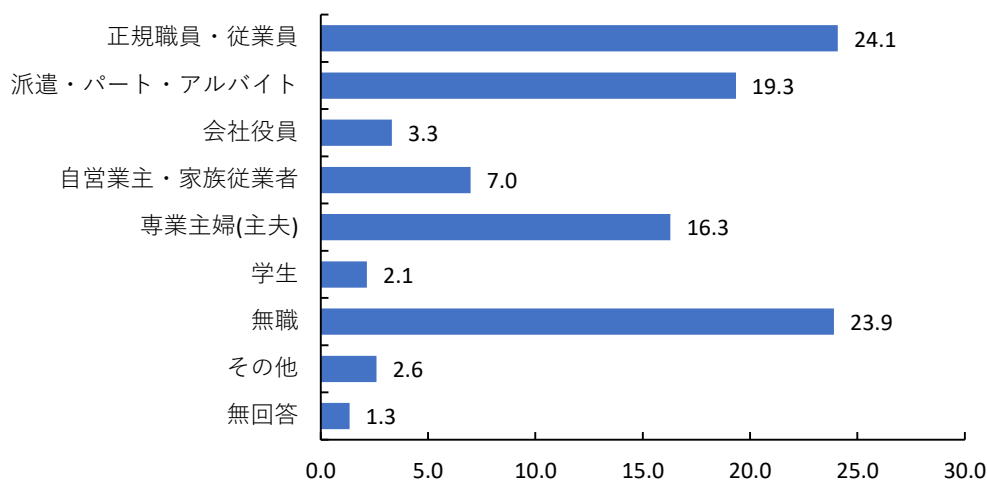
③居住地

回答者の居住地は、「長淵地区」が15.4%で最も多く、次いで「大門地区」15.2%、「新町地区」14.1%と続いています。



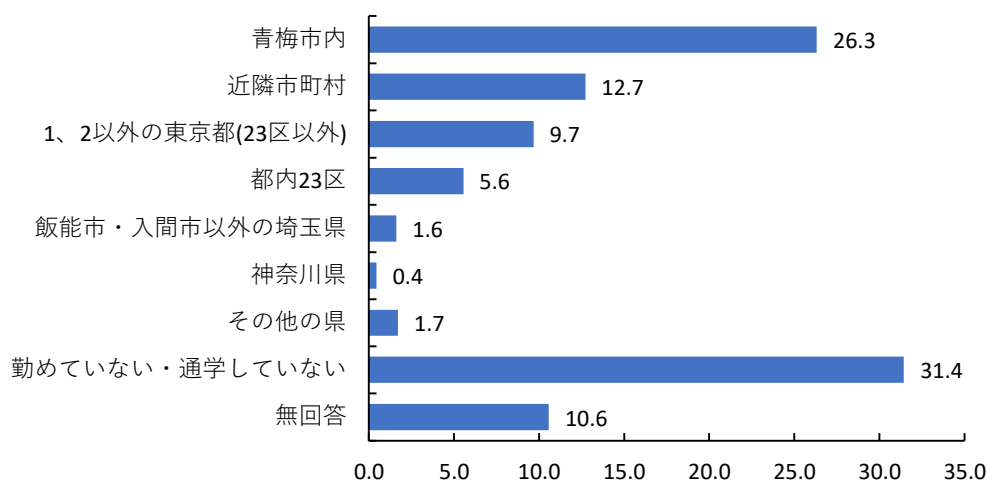
④職 業

回答者の職業は、「正規職員・従業員」が24.1%で最も多く、次いで「無職」23.9%、「派遣・パート・アルバイト」19.3%と続いています。

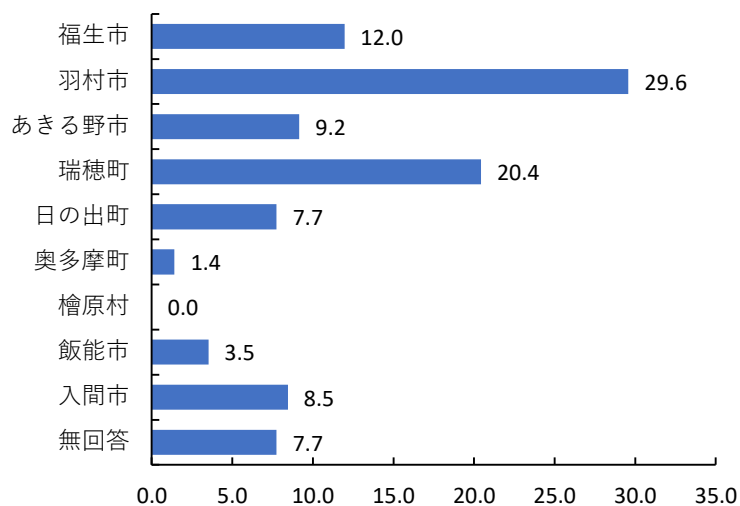


⑤勤務地・通勤地

回答者の勤務地は、「勤めていない・通学していない」が31.4%、「青梅市内」が26.3%、「近隣市町村」が12.7%となっています。



近隣市町村の内訳は以下のとおりです。

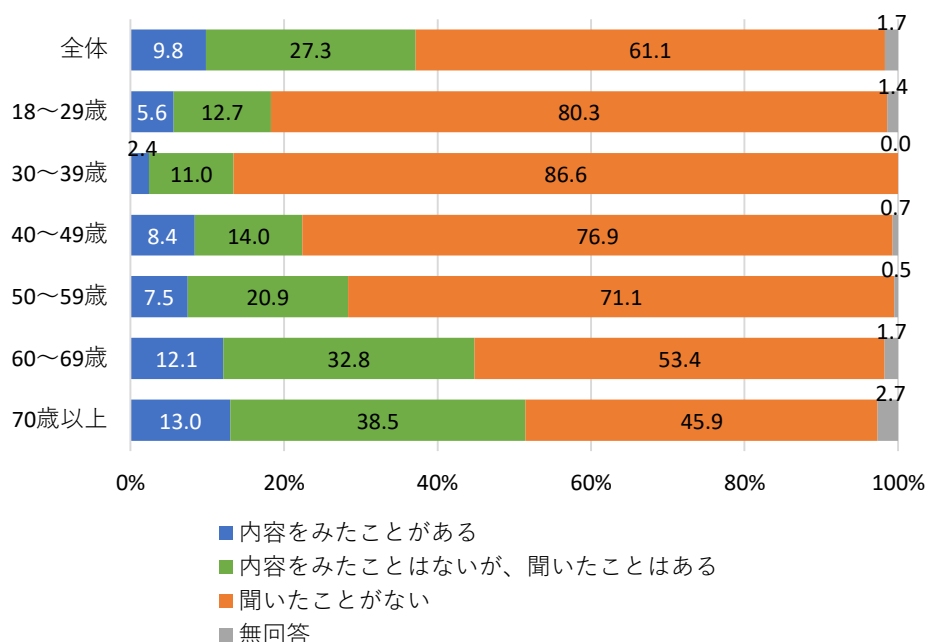


(2) 青梅市総合長期計画の認知度

問2 あなたは、青梅市総合長期計画を知っていますか。

青梅市総合長期計画について、「聞いたことがない」が61.1%、「内容をみたことはないが、聞いたことはある」27.3%、「内容をみたことがある」9.8%。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、認知度が上がる傾向がみられます。

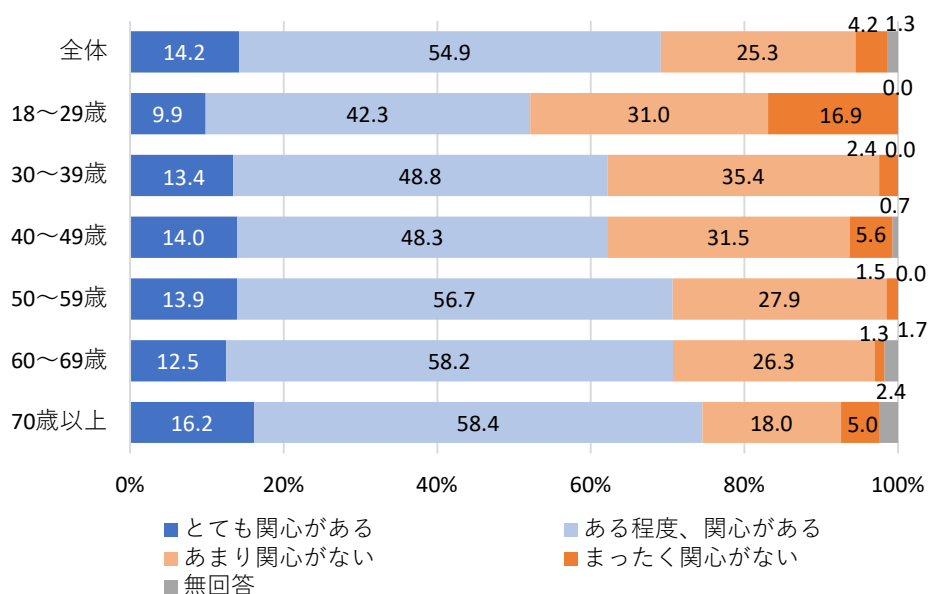


(3) 市政・まちづくりへの関心

問3 あなたは、市政・まちづくりにどの程度関心がありますか。

市政・まちづくりへの関心について、「とても関心がある」と「ある程度、関心がある」を合わせた『関心がある』が69.1%。

年齢が上がるにつれ、「ある程度、関心がある」の割合が高い傾向がみられます。

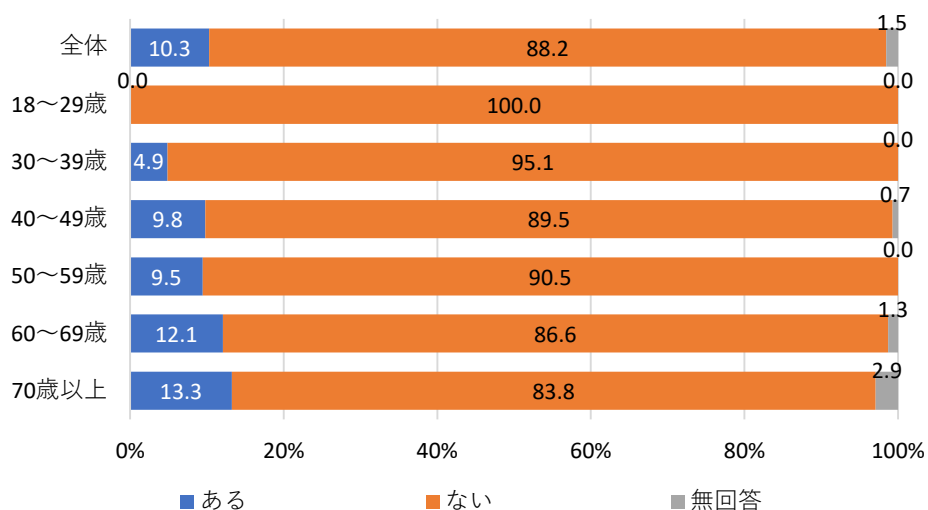


(4) 市政への意見提出・行政活動への参加の有無

問4 あなたは今までに市政に対して意見を出したり、行政活動に参加したりしたことはありますか。

市政への意見提出、行政活動への参加について、「ある」が10.3%、「ない」が88.2%となっています。

年齢が上がるにつれて「ある」の割合が高くなる傾向がみられます。

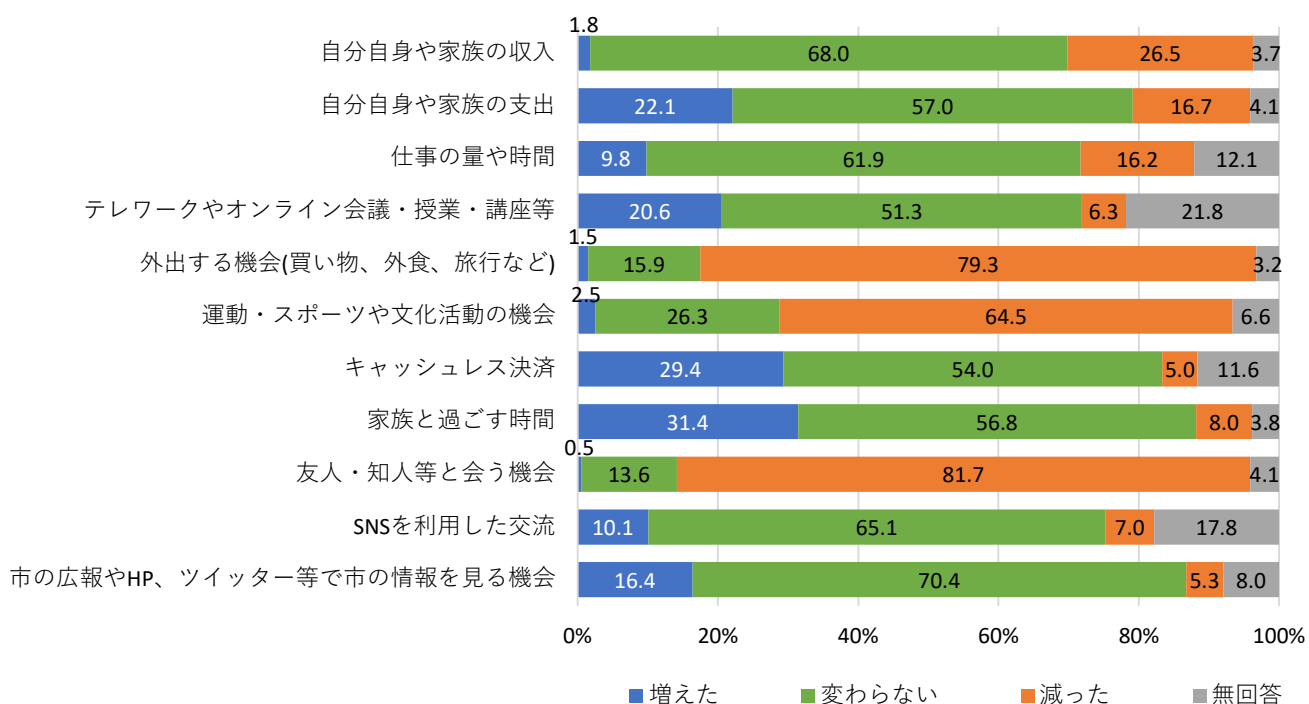


(5) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活の変化

問5 新型コロナウイルス感染症の影響による、あなたの生活状況等の変化についてお答えください。

新型コロナウイルス感染症の影響による生活状況等の変化について、「増えた」の割合が高い項目は「家族と過ごす時間」31.4%、「キャッシュレス決済」29.4%、「自分自身や家族の支出」22.1%などとなっています。

「減った」の割合が高い項目は「友人・知人等と会う機会」81.7%、「外出する機会」79.3%、「運動・スポーツや文化活動の機会」64.5%などとなっています。

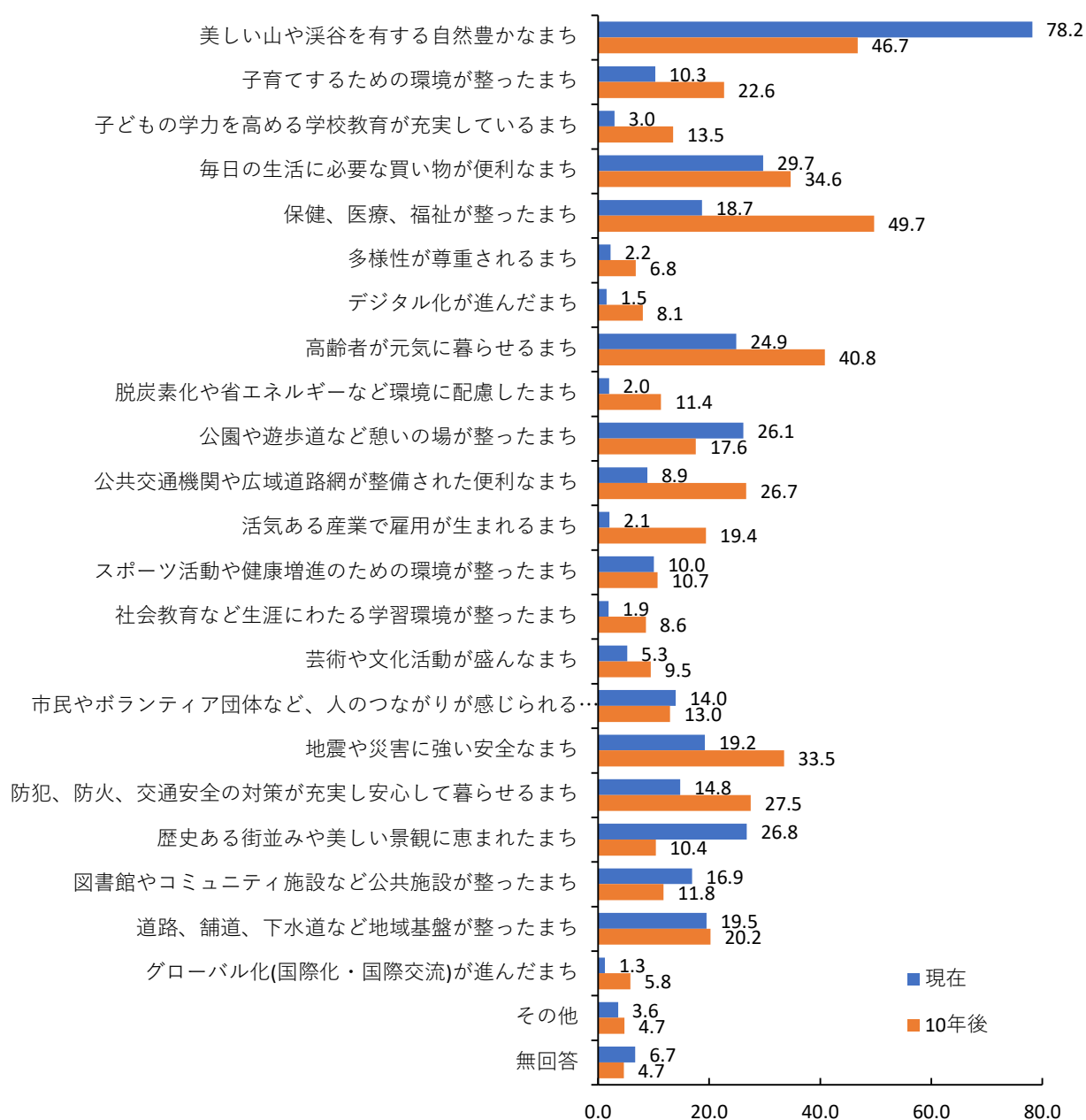


(6) 青梅市の現在と10年後のイメージ

問6 あなたが持つ現在の青梅市のイメージはどのようなものですか。また、あなたが望む10年後の青梅市にふさわしいイメージはどのようなものですか。

現在の青梅市のイメージは、「美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち」78.2%、「毎日の生活に必要な買い物が便利なまち」29.7%、「高齢者が元気に暮らせるまち」24.9%などとなっています。

10年後に望む青梅市のイメージは、「保健、医療、福祉が整ったまち」49.7%、「美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち」46.7%、「高齢者が元気に暮らせるまち」40.8%などとなっています。



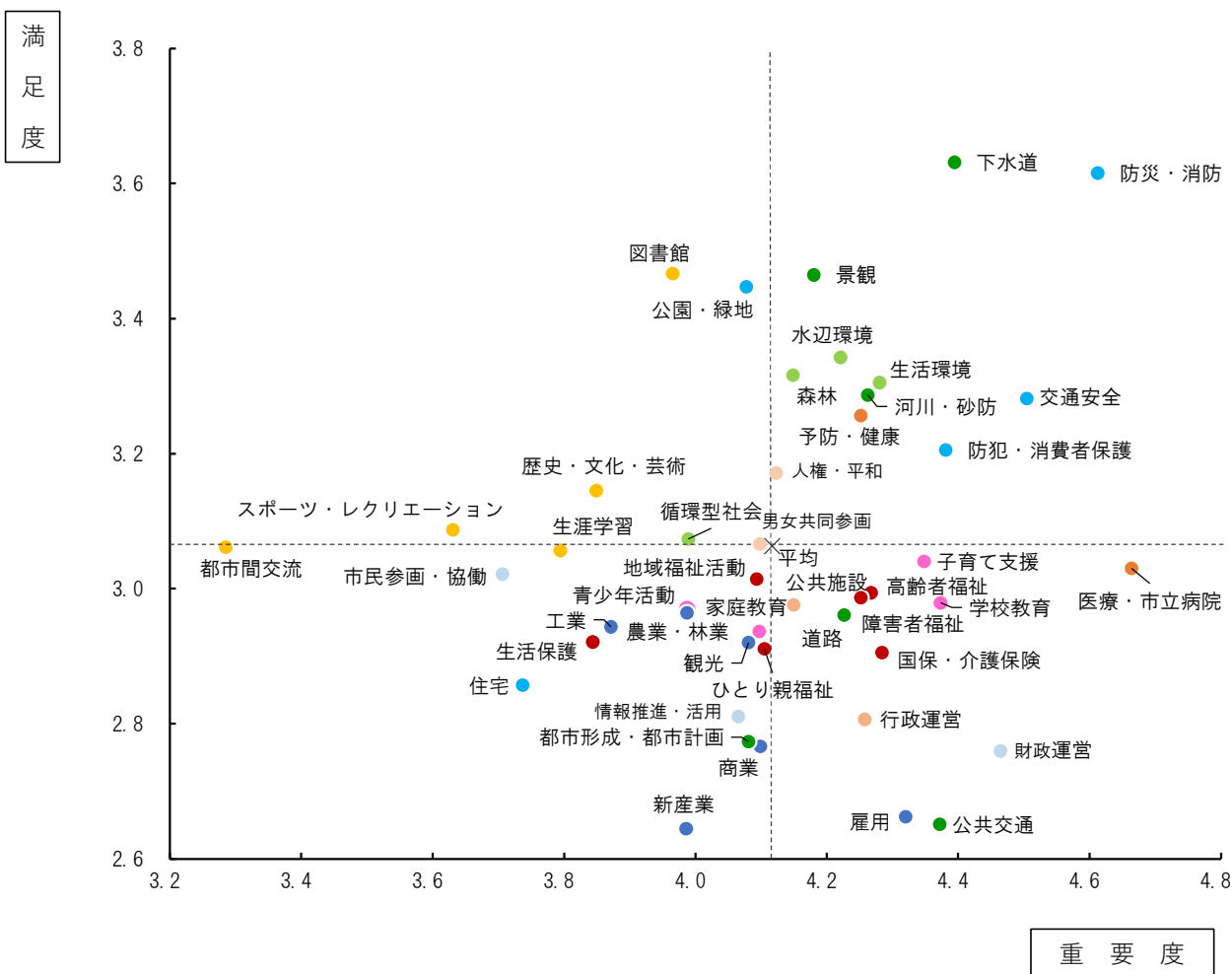
18～29歳		
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	63.4%
2	歴史ある街並みや美しい景観に恵まれたまち	32.4%
3	高齢者が元気に暮らせるまち	25.4%
4	図書館やコミュニティ施設など公共施設が整ったまち	22.5%
5	公園や遊歩道など憩いの場が整ったまち	21.1%
30～39歳		
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	72.0%
2	公園や遊歩道など憩いの場が整ったまち	30.5%
3	高齢者が元気に暮らせるまち	24.4%
4	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	22.0%
5	歴史ある街並みや美しい景観に恵まれたまち	19.5%
40～49歳		
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	79.0%
2	歴史ある街並みや美しい景観に恵まれたまち	32.9%
3	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	25.2%
4	公園や遊歩道など憩いの場が整ったまち	24.5%
5	高齢者が元気に暮らせるまち	24.5%
50～59歳		
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	77.1%
2	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	33.3%
3	歴史ある街並みや美しい景観に恵まれたまち	29.9%
4	公園や遊歩道など憩いの場が整ったまち	26.4%
5	地震や災害に強い安全なまち	18.4%
60～69歳		
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	85.3%
2	公園や遊歩道など憩いの場が整ったまち	29.7%
3	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	29.3%
4	歴史ある街並みや美しい景観に恵まれたまち	27.2%
5	保健、医療、福祉が整ったまち	22.0%
70歳以上		
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	78.0%
2	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	32.9%
3	高齢者が元気に暮らせるまち	31.3%
4	道路、舗道、下水道など地域基盤が整ったまち	30.2%
5	保健、医療、福祉が整ったまち	25.2%

18～29歳		
1	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	32.4%
2	保健、医療、福祉が整ったまち	31.0%
3	地震や災害に強い安全なまち	31.0%
4	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	29.6%
5	公共交通機関や広域道路網が整備された便利なまち	29.6%
30～39歳		
1	防犯、防火、交通安全の対策が充実し安心して暮らせるまち	41.5%
2	保健、医療、福祉が整ったまち	40.2%
3	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	39.0%
4	地震や災害に強い安全なまち	39.0%
5	子育てするための環境が整ったまち	39.0%
40～49歳		
1	保健、医療、福祉が整ったまち	52.4%
2	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	52.4%
3	高齢者が元気に暮らせるまち	34.3%
4	地震や災害に強い安全なまち	29.4%
5	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	29.4%
50～59歳		
1	保健、医療、福祉が整ったまち	56.2%
2	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	56.2%
3	高齢者が元気に暮らせるまち	44.8%
4	地震や災害に強い安全なまち	38.8%
5	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	37.8%
60～69歳		
1	保健、医療、福祉が整ったまち	57.8%
2	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	54.7%
3	高齢者が元気に暮らせるまち	47.0%
4	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	37.5%
5	地震や災害に強い安全なまち	36.2%
70歳以上		
1	高齢者が元気に暮らせるまち	49.3%
2	保健、医療、福祉が整ったまち	45.9%
3	美しい山や渓谷を有する自然豊かなまち	39.8%
4	毎日の生活に必要な買い物が便利なまち	35.5%
5	地震や災害に強い安全なまち	30.5%

(7) 施策の満足度・重要度

問7 青梅市総合長期計画では、10 のまちづくりの基本方向のもと、45 の施策分野でまちづくりを推進しています。それぞれの施策分野の満足度と重要度について、あなたのお考えをお聞かせください。

満足度、重要度ともに高い（強みを伸ばす）施策（強みを伸ばす）は「防災・消防」、「下水道」などとなっています。満足度が低く、重要度が高い（力を入れるべき）施策は、「公共交通」「財政運営」「雇用」などとなっています。



満足度		重要度	
1	下水道	3.63	1 医療・市立病院
2	防災・消防	3.62	2 防災・消防
3	図書館	3.47	3 交通安全
4	景観	3.46	4 財政運営
5	公園・緑地	3.45	5 下水道
6	水辺環境	3.34	6 防犯・消費者保護
7	森林	3.32	7 学校教育
8	生活環境	3.31	8 公共交通
9	河川・砂防	3.29	9 子育て支援
10	交通安全	3.28	10 雇用

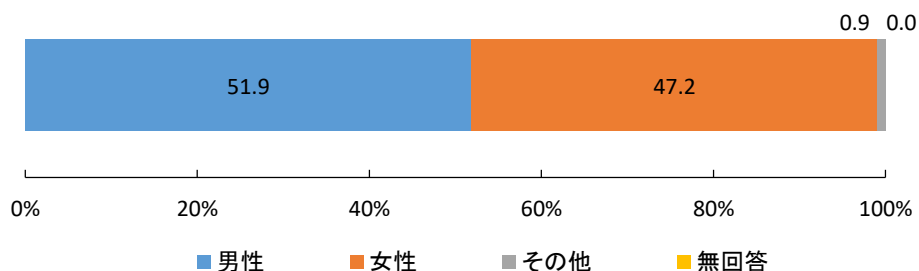
※満足度・重要度：「とても満足（重要）」5点、「やや満足（重要）」4点、「どちらともいえない」3点、「やや不満（あまり重要でない）」2点、「とても不満（全く重要でない）」1点をつけて合計し、「わからない」を除く回答者数で除したのもの。

3 転出者アンケート調査

(1) 回答者の属性

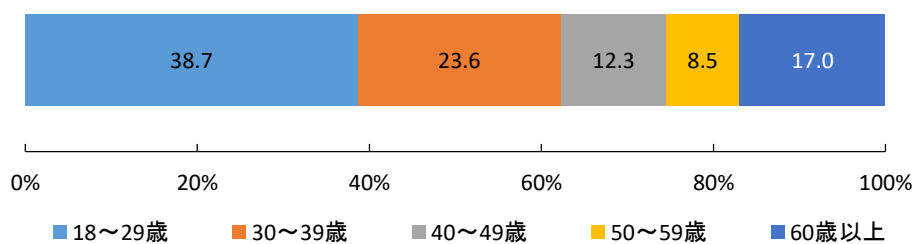
①性 別

回答者の性別は「男性」51.9%、「女性」47.2%、「その他」0.9%となっています。



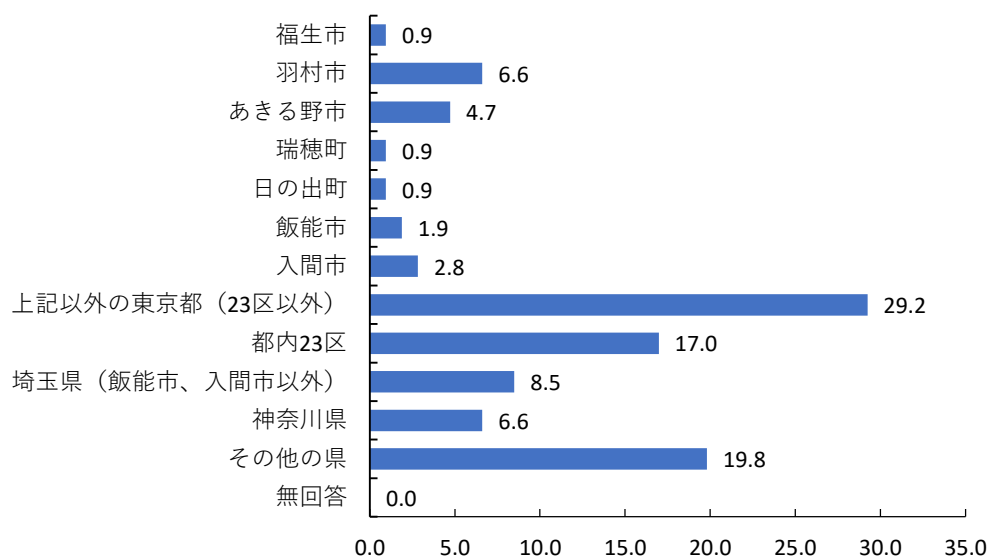
②年 齢

回答者の年齢は「18～29歳」が38.7%で最も高く、次いで「30～39歳」23.6%、「60歳以上」17.0%と続いています。



③居住地

回答者の現在の居住地は「上記以外の東京都（23区以外）」が29.2%で最も高く、次いで「その他の県」19.8%、「都内23区」17.0%と続いています。

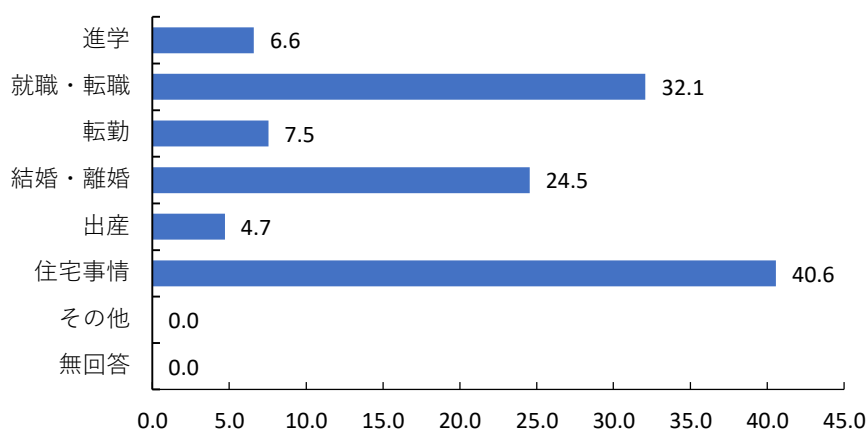


(2) 転出時の状況

① 転出したきっかけ

転出したきっかけは「住宅事情」が40.6%で最も高く、次いで「就職・転職」32.1%、「結婚・離婚」24.5%と続いています。

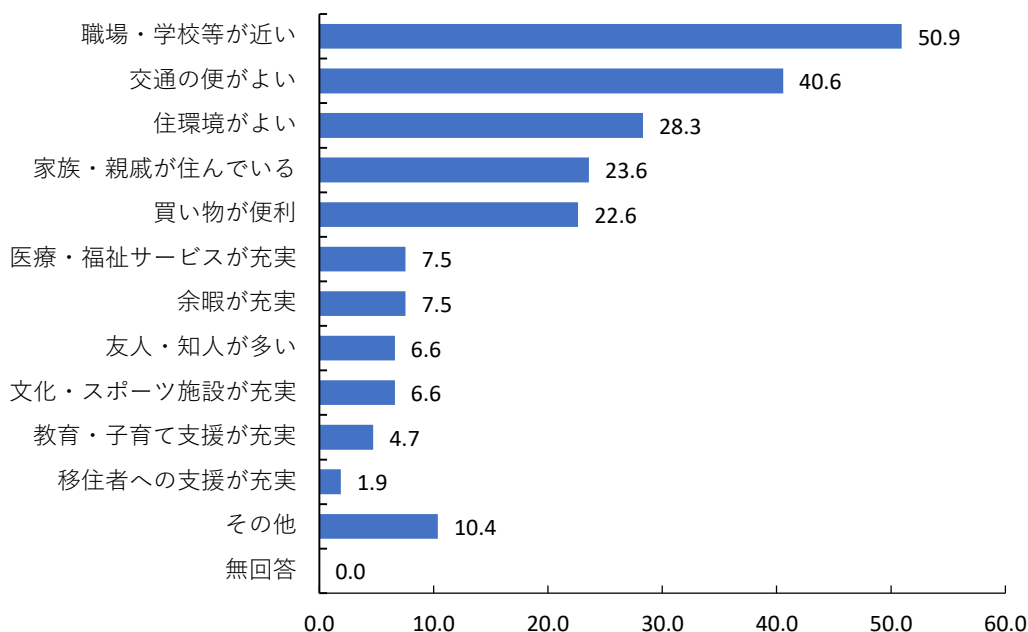
年齢別にみると、18～29歳では「就職・転職」、30～39歳では「結婚・離婚」、40歳以上では「住宅事情」がそれぞれ最も高くなっています。



		(n)	進学	就職・転職	転勤	結婚・離婚	出産	住宅事情
全体		106	6.6	32.1	7.5	24.5	4.7	40.6
時期	コロナ前	49	8.2	36.7	8.2	24.5	4.1	42.9
	コロナ後	57	5.3	28.1	7.0	24.6	5.3	38.6
性別	男性	55	7.3	32.7	9.1	20.0	7.3	47.3
	女性	50	6.0	32.0	6.0	30.0	2.0	32.0
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢	18～29歳	41	9.8	51.2	2.4	39.0	0.0	17.1
	30～39歳	25	4.0	20.0	8.0	32.0	16.0	28.0
	40～49歳	13	7.7	38.5	15.4	7.7	7.7	46.2
	50～59歳	9	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	66.7
	60歳以上	18	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	94.4

②転出先を選んだ理由

転出先を選んだ理由について、「職場・学校が近い」が50.9%で最も高く、次いで「交通の便がよい」40.6%、「住環境がよい」28.3%と続いています。

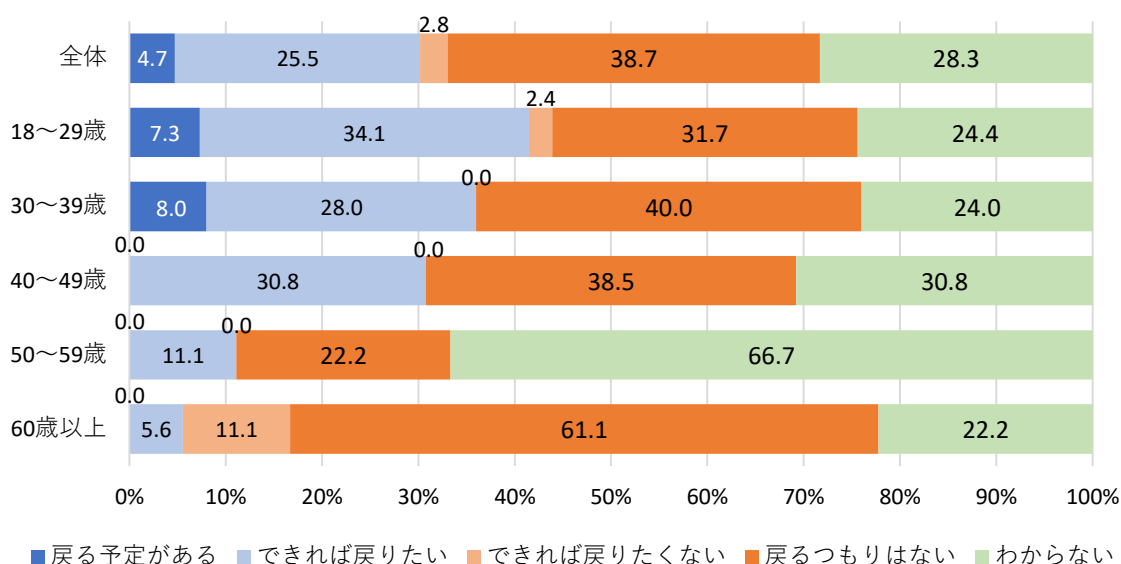


		(n)	職場・学校等が近い	交通の便がよい	住環境がよい	家族・親戚が住んでいる	買い物が便利	医療・福祉サービスが充実	余暇が充実	友人・知人が多い	文化・スポーツ施設が充実	教育・子育て支援が充実	移住者への支援が充実	その他
全体		106	50.9	40.6	28.3	23.6	22.6	7.5	7.5	6.6	6.6	4.7	1.9	10.4
時期	コロナ前	49	49.0	46.9	32.7	28.6	28.6	8.2	10.2	4.1	8.2	8.2	4.1	8.2
	コロナ後	57	52.6	35.1	24.6	19.3	17.5	7.0	5.3	8.8	5.3	1.8	0.0	12.3
性別	男性	55	47.3	36.4	23.6	27.3	21.8	9.1	7.3	7.3	5.5	1.8	1.8	16.4
	女性	50	56.0	46.0	32.0	20.0	24.0	6.0	8.0	6.0	8.0	8.0	2.0	4.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	18～29歳	41	68.3	48.8	31.7	9.8	19.5	4.9	9.8	4.9	7.3	4.9	0.0	2.4
	30～39歳	25	48.0	44.0	28.0	24.0	32.0	8.0	20.0	0.0	16.0	16.0	4.0	16.0
	40～49歳	13	53.8	38.5	23.1	38.5	30.8	23.1	46.2	23.1	38.5	38.5	7.7	30.8
	50～59歳	9	33.3	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3
	60歳以上	18	22.2	22.2	27.8	38.9	11.1	27.8	11.1	11.1	11.1	0.0	5.6	38.9

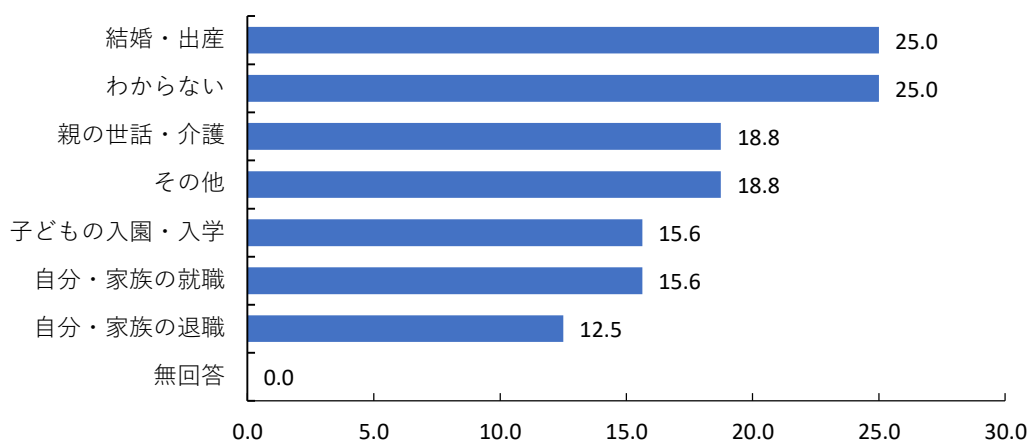
(3) Uターンの意向

今後、青梅市に戻りたいかどうかについて、「戻る予定がある」4.7%、「できれば戻りたい」25.5%、「できれば戻りたくない」2.8%、「戻るつもりはない」38.7%、「わからない」が28.3%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「戻る予定がある」「できれば戻りたい」の割合が低くなっています。



「戻る予定がある」「できれば戻りたい」と回答した人に、戻るときのタイミング・きっかけをうかがったところ、「結婚・出産」「わからない」がそれぞれ25.0%で最も高くなっています。

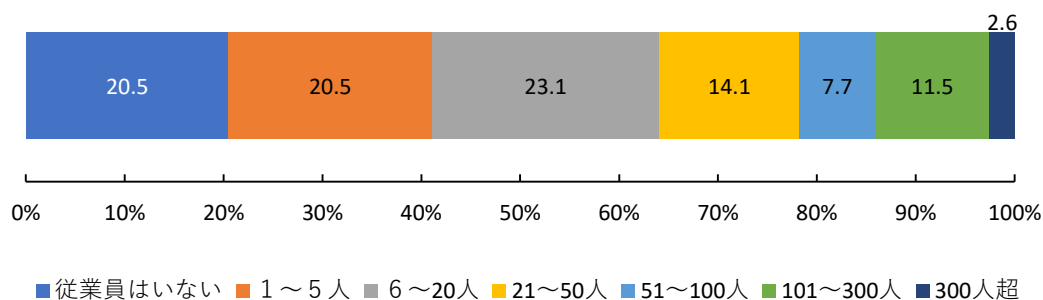


4 事業者アンケート調査

(1) 回答事業者の属性

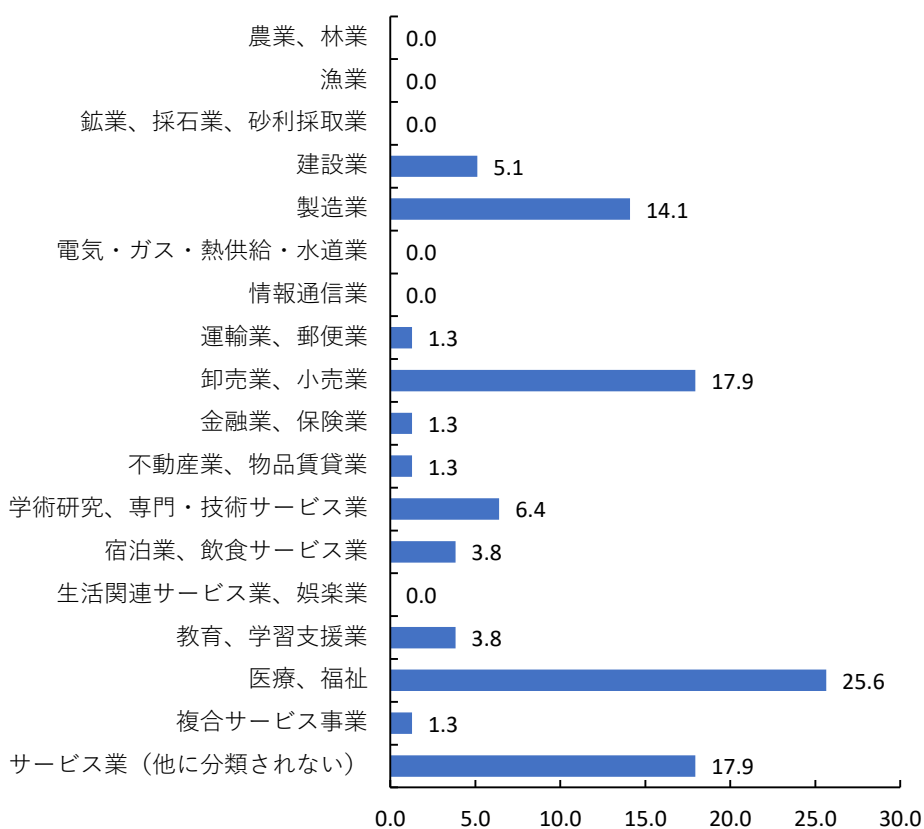
① 従業員数

回答事業者の従業員数は「6～20人」が23.1%で最も多く、次いで「従業員はいない」、
「1～5人」各20.5%、「21～50人」14.1%が続いています。



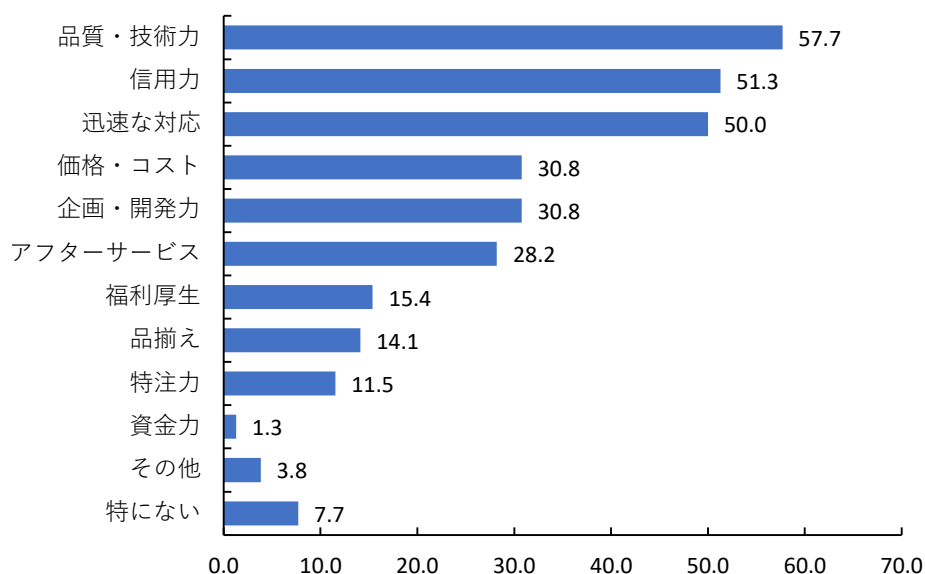
② 業種

回答事業者の業種は、「医療、福祉」が25.6%で最も高く、次いで「卸売業、小売業」、
サービス業（他に分類されない）各17.9%、「製造業」14.1%が続いています。



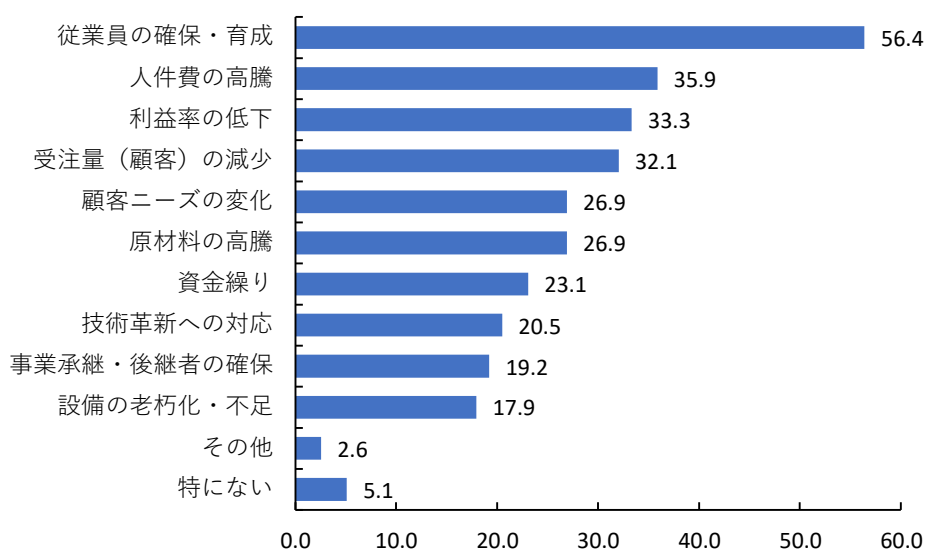
(2) 事業所の強み

事業所の強みについて、「品質・技術力」が 57.7%で最も高く、次いで「信用力」51.3%、「迅速な対応」50.0%が続いています。



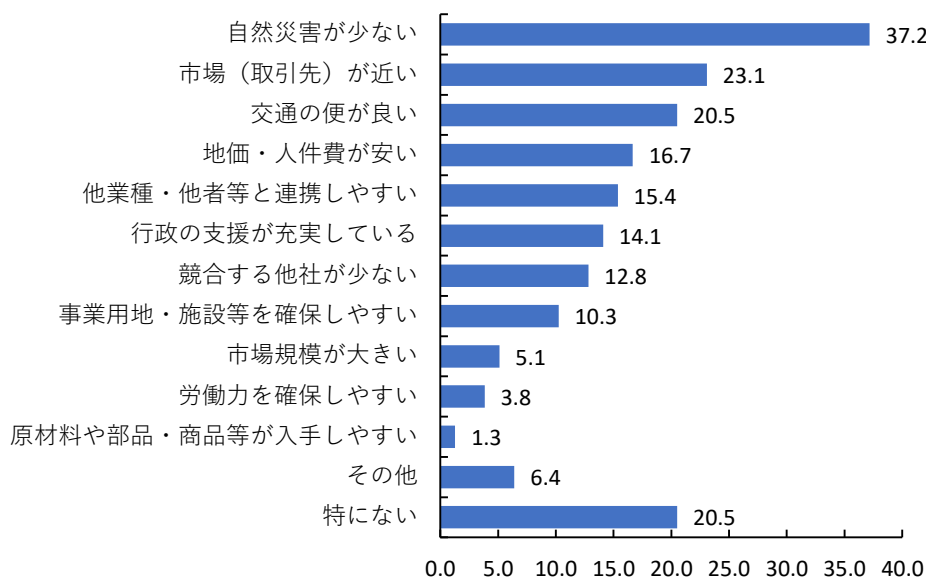
(3) 経営上の課題

経営上の課題について、「従業員の確保・育成」が 56.4%で最も高く、次いで「人件費の高騰」35.9%、「利益率の低下」33.3%が続いています。



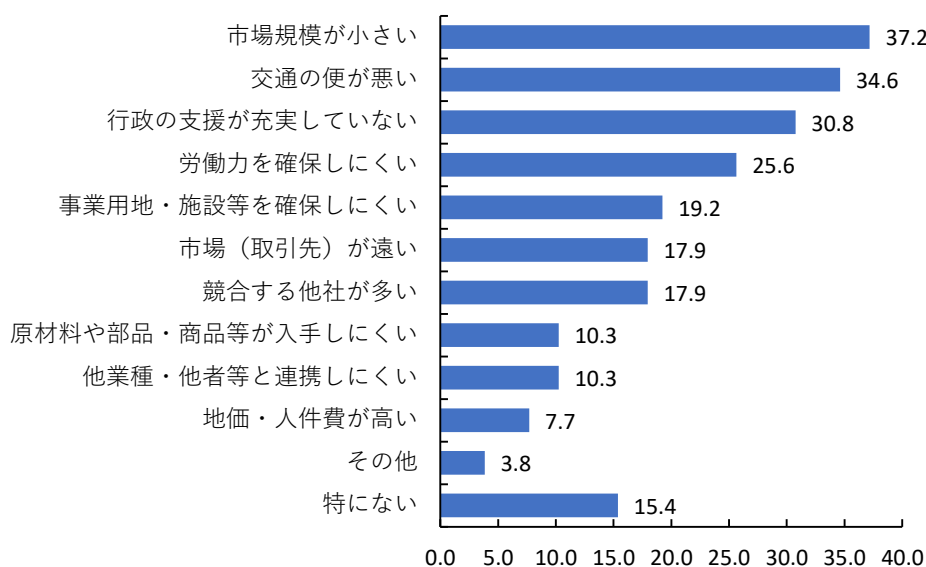
(4) 青梅市で事業を行うことの強み・弱み

青梅市で事業を行うことの強みについて、「自然災害が少ない」が37.2%で最も高く、次いで「市場（取引先）が近い」23.1%、「交通の便が良い」、「特にない」各20.5%が続いています。



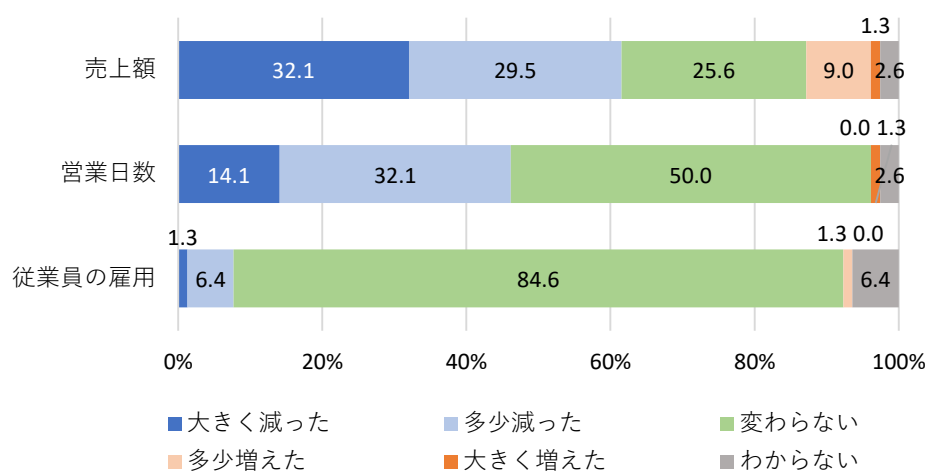
②弱み

青梅市で事業を行うことの弱みについて、「市場規模が小さい」が37.2%で最も高く、次いで「交通の便が悪い」34.6%、「行政の支援が充実していない」30.8%が続いています。



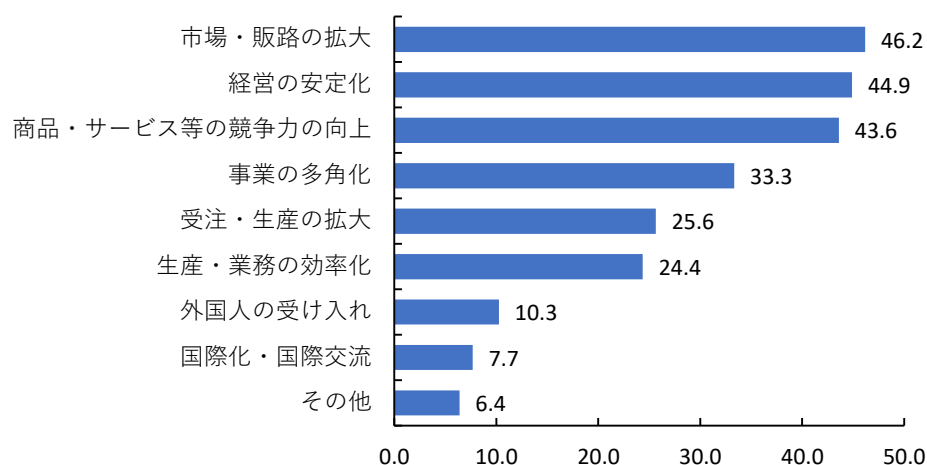
(5) 新型コロナウイルス感染拡大の影響

新型コロナウイルス感染拡大の影響について、「大きく減った」と「多少減った」を合わせた『減った』と回答した事業所は、売上額で 61.6%、営業日数で 46.2%、従業員の雇用では 7.7%となっています。



(6) 今後 10 年の事業展開で重要なこと

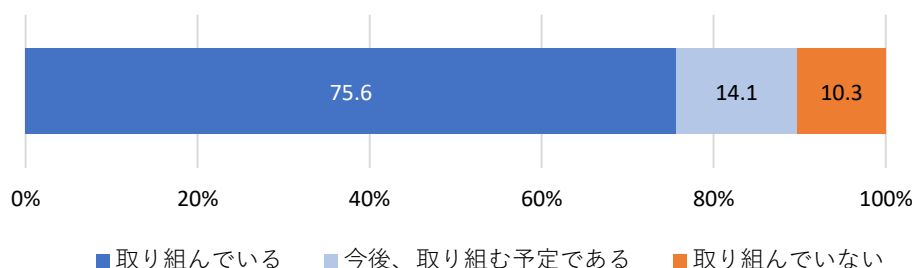
今後 10 年の事業展開で重要なことについて、「市場・販路の拡大」が 46.2%で最も高く、次いで「経営の安定化」44.9%、「商品・サービス等の競争力の向上」43.6%が続いています。



(7) 地域活動（地域貢献）について

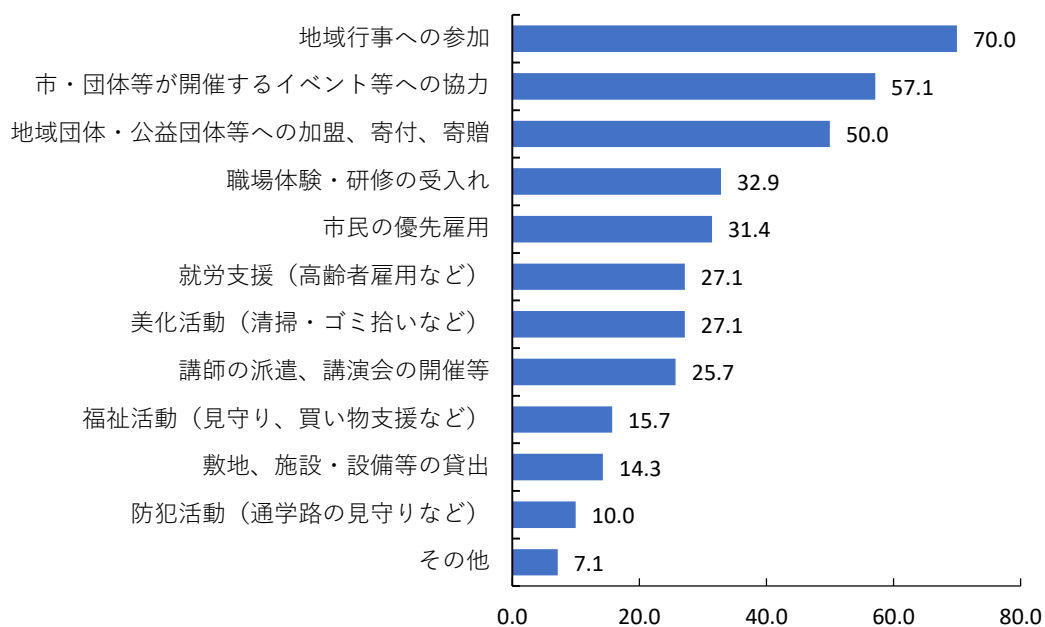
①取組の有無

地域活動（地域貢献）の活動状況について、「取り組んでいる」が75.6%、「今後取り組む予定である」が14.1%、「取り組んでいない」が10.3%となっています。



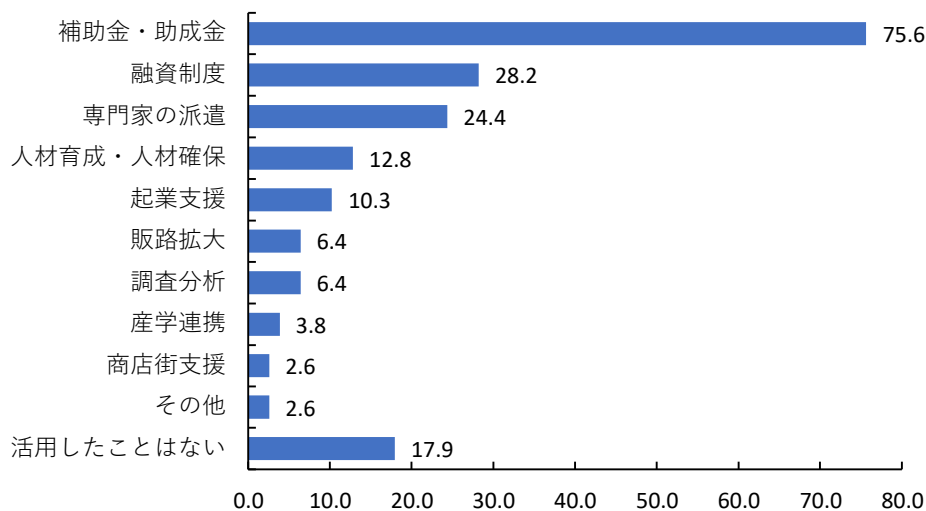
②取組内容

「取り組んでいる」もしくは「取り組む予定である」と回答した事業者にその内容をうかがったところ、「地域行事への参加」が70.0%で最も高く、次いで「市・団体等が開催するイベント等への協力」57.1%、「地域団体・公益団体等への加盟、寄付、寄贈」50.0%が続いています。



(8) 各種制度・施策の活用状況

活用したことがある行政や関係団体等の各種制度・施策について、「補助金・助成金」が75.6%で最も高く、次いで「融資制度」28.2%、「専門家の派遣」24.4%と続いています。



(9) 行政や関係団体等の取組で必要なこと

行政や関係団体等の取組で特に必要だと思うものについて、「人材の確保、雇用の安定に関する支援」が39.7%で最も高く、次いで「人口減少対策、市内へ移住定住の促進」37.2%、「子育てしやすい就労環境づくり」28.2%が続いています。

